

第5期 定時株主総会

平成23年3月30日

株式会社 ポーラ・オルビス ホールディングス

報告事項

第5期 事業報告

平成22年 1月 1日 から
平成22年12月31日 まで

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

わが国の経済

個人消費の持ち直し
企業収益の改善

不安定な政治・外交情勢
円高の継続
雇用の悪化



景気改善の足踏み状態が続く

化粧品市場

国内市場

基礎化粧品は明るい兆し
メイクアップは依然低迷

回復基調は限定的

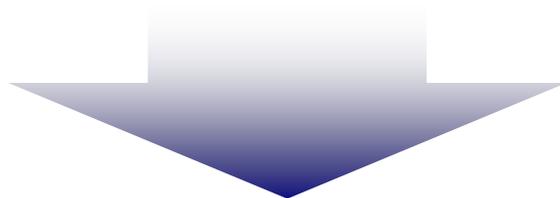
海外市場

アジアを成長源とする

今後も積極的な
展開が続く

平成22年12月10日
東京証券取引所市場第一部への上場

市場環境への迅速な対応



増収増益を達成

連結業績

科目	金額	前期比
売上高	1,652億53百万円	1.8%増
営業利益	122億70百万円	26.4%増
経常利益	122億47百万円	18.1%増
当期純利益	70億86百万円	74.6%増

1. 企業集団の現況に関する事項

各事業別セグメントの業績

POLA

◆市場ニーズに合わせた チャネルの多様化

- ・「ポーラ ザ ビューティ」の展開
- ・百貨店店舗の都市部への積極展開

◆お客さま満足度向上

- ・「ポーラレディ」の販売品質
- ・カウンセリング技術の向上



ポーラ ザ ビューティ



百貨店カウンター



カウンセリング

POLA

◆新製品が順調に推移、前年を上回る

・「ホワイティシモ」シリーズ(3月発売)

・「B. A」シリーズ (9月発売)



国内で前期を上回る実績

POLA

◆ロシア・タイ・中国で前年を上回る

- ・パフューマリー(化粧品専門店)への出店



カウンセリング(ロシア)

◆米国・台湾では厳しい状況

- ・景気や急激な円高の影響



海外で前期を下回る実績



海外百貨店カウンター

ORBIS

◆お客さま満足度・継続購入率 の向上への取り組み

通信販売

- ・新規のお客さまの獲得が順調

店舗販売

- ・接客力の向上への取り組み



オルビス・ザ・ネット



店頭でのカウンセリング

ORBIS

◆スキンケアの新製品が好調に推移

- ・「クリア」シリーズ(5月発売)
- ・「クレンジングリキッド」(7月発売)
- ・「エクセレントホワイト」シリーズ(10月発売)

国内で前期を上回る実績



ORBIS

◆中国での事業展開

- ・本格的に事業をスタート

◆韓国・台湾でのビジネスモデル確立

- ・通信販売＋店舗販売
- ・インターネット販売の増加

海外で前期を上回る実績



海外通販カタログ



海外オルビス・ザ・ショップ

◆育成ブランドの成長

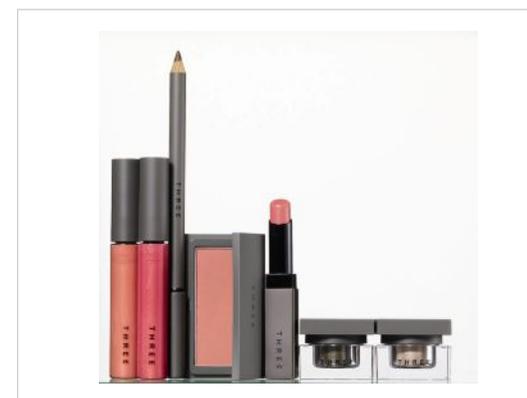
T H R E E シリーズの伸張

↓

前期を上回る実績



「THREE」 スキンケア



「THREE」 メイク

◆化粧品事業計

科目	金額	前期比
売上高	1,396億60百万円	2.5%増
営業利益	104億72百万円	24.4%増

POLA

◆カタログ販売は微減、
催事(フェア)販売は高額品が伸びず

ORBIS

◆新製品や取扱い商品の拡大で順調



科目	金額	前期比
売上高	134億53百万円	4.8%減
営業損失	4億52百万円	—

POLA PHARMA

◆医療用医薬品「ルリコン」が好調

◆販売管理費の削減で損益を大幅改善



外用抗真菌剤「ルリコン」

科目	金額	前期比
売上高	69億36百万円	2.8%増
営業損失	3億49百万円	—

◆賃料値下がりで前期を下回る



ブローテ大倉山

◆子育て支援型マンション 「ブローテ大倉山」竣工



キッズルーム

科目	金額	前期比
売上高	31億2百万円	3.5%減
営業利益	13億4百万円	18.4%減

◆ビルメンテナンス事業は前期を上回る



◆印刷事業は前期を下回る



科目	金額	前期比
売上高	21億1百万円	4.3%増
営業利益	3億99百万円	11.8%減

1. 企業集団の現況に関する事項

(2)設備投資の状況

◆設備投資額

化粧品事業	37億16百万円
医薬品事業	1億83百万円
不動産事業	22億49百万円
全体	62億45百万円



多品種少量生産用ライン



新大阪ビル(2010年10月竣工)

1. 企業集団の現況に関する事項

(3) 資金調達の状況

東京証券取引所市場第一部に上場
公募により 資金調達

総額

67億75百万円

1. 企業集団の現況に関する事項

(4) 事業譲渡、吸収分割または新設分割の状況

1. 企業集団の現況に関する事項

(5) 対処すべき課題

長期ビジョン

「世界的にも存在感のあるグループに」

重点課題

- ①. 基幹ブランドの収益性向上
／マルチブランドの戦略強化
- ②. 基幹ブランドのグローバルな
事業展開による成長性の実現
- ③. 経営基盤強化

①. 基幹ブランドの収益性向上 ／マルチブランドの戦略強化

POLA

◆ポーラ ザ ビューティ、
百貨店カウンターの出店拡大



ポーラ ザ ビューティ店内

ORBIS

◆お客さまとのコミュニケーション
強化による収益性向上



3月発売 新アクアフォース

◆5つの育成ブランドの拡大



THREE スキンケア

②. 基幹ブランドのグローバルな 事業展開による成長性の実現

POLA

◆中国、ロシアを重点に展開

ORBIS

◆中国をはじめとしたアジア諸国

各国でお客さまから高い支持を得る
ビジネスモデルを構築



海外百貨店カウンター



海外オルビス・ザ・ショップ

③. 経営基盤強化

◆研究開発力の強化

- ・美白やアンチエイジング領域に注力

◆選択と集中

- ・投資効率の向上

◆プロセスマネジメント

- ・各社各事業に重要業績指標等を設定

◆人材育成

- ・グループ横断型の人材育成



◆利益配分の基本方針

安定的な配当を継続的に実現

◆中間配当の実施

平成22年12月期 年1回(期末)



平成23年12月期 年2回(中間・期末)

1. 企業集団の現況に関する事項

- (6) 財産及び損益の状況の推移
- (7) 重要な親会社及び子会社の状況
- (8) 主要な事業内容
- (9) 主要な事業所
- (10) 従業員の状況
- (11) 主要な借入先
- (12) その他企業集団の現況に関する重要な事項

お手許の招集ご通知12ページから16ページに記載の通りでございますのでご高覧ください。

2. 会社の株式に関する事項

3. 会社の新株予約権等に関する事項

4. 会社役員に関する事項

5. 会計監査人の状況

6. 会社の体制及び方針

お手許の招集ご通知17ページから25ページに記載の通りでございますのでご高覧ください。

連結貸借対照表

平成22年12月31日 現在

◆資産の部

安全性の高い有価証券
による運用拡大

科目	金額	前期比
流動資産	1,072億30百万円	△88億24百万円
固定資産	805億41百万円	+146億86百万円
資産合計	1,877億71百万円	+58億62百万円

◆負債の部

営業活動により獲得した
資金で借入金を返済

科目	金額	前期比
流動負債	236億23百万円	△62億72百万円
固定負債	110億44百万円	△79百万円
負債合計	346億67百万円	△63億52百万円

◆純資産の部

当期純利益の獲得
 上場による資金調達

科目	金額	前期比
株主資本	1,532億65百万円	+128億36百万円
評価・換算 差額等	△2億64百万円	△5億51百万円
少数株主 持分	1億3百万円	△70百万円
純資産合計	1,531億4百万円	+122億14百万円

連結損益計算書

平成22年1月1日 から
平成22年12月31日 まで

連結損益計算書

科目	金額	前期比
売上高	1,652億53百万円	1.8%増
売上総利益	1,319億32百万円	1.9%増
営業利益	122億70百万円	26.4%増
経常利益	122億47百万円	18.1%増
税金等調整前 当期純利益	120億30百万円	42.3%増
当期純利益	70億86百万円	74.6%増

連結株主資本等変動計算書

連結注記表

個別計算書類

個別注記表

お手許の招集ご通知28ページから44ページに記載の通りでございますのでご高覧ください。

東日本大震災の影響について

第5期 定時株主総会

平成23年3月30日

株式会社 ポーラ・オルビス ホールディングス